



ロータリーは
分かちあいの心

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

07-08年度 RI会長
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン



名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30
■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号
名古屋マリオットアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054
■会長/大隅 紀郎 ■幹事/杉山 隆秀 ■会報委員長/西村 己恵子

第816回

2008年5月20日(火) 晴 第40回

斉唱 我等の生業
出席 会員73名 (出席率算入人数67名)
出席 51名 出席率76.12%

◆会長あいさつ◆

会長 大隅 紀郎さん

今日はクラブアッセンブリー、ご苦労さまでございました。うちのRCもこれで、ほぼ1か月を残して、私の役目を終わるわけでございます。今日は、「なにもなし」ということで、あとで先生に体操をやっていただきたいと思いますが、おまかせしまして、ゆったりと、皆さんで、各テーブルでお話しいただけたらありがたいと思っております。あと1か月、頑張りますので、よろしくお願いたします。



◆幹事報告◆

幹事 杉山 隆秀さん

- 海外出張届
猪村 美之さん 5/20～5/30
イタリア、ドイツ、クロアチア 商用
- 当RC名誉会員の松岡昭さんが、東南RCでも名誉会員として認められました。
- 5月27日の例会会場は51階「シリウス」に変更です。お間違いのないようお願いいたします。

◆ニコボックス◆

*クラブアッセンブリー参加の皆様ご苦労様でした。

林 隆二さん	平沼 里子さん	中村 勝さん
水谷 誠さん	杉山 隆秀さん	黒田 康正さん
浅井 浩さん	金原 匡彦さん	久米 伸治さん
杉本 勇さん	佐々木 眞さん	小野 雅之さん
坂田 信子さん	加藤 宜之さん	菊岡深智子さん
武藤 正行さん	堀田 光江さん	鈴木 清詞さん
山崎 淳さん	犬飼りさ枝さん	新原 尚さん
西村己恵子さん	鈴井 一博さん	林 正人さん
朝比美和子さん	中西 芳子さん	森田敏二三さん
東山 直史さん	木村 猛さん	三浦 和人さん
三浦 隆さん	柴田 照子さん	

- * 1週間、断食道場に行ってきた。身も心も頭も、すっきりしたかな? 生野 房江さん
 - * 鈴木清詞さんのアドバイスで株がもうかりました。鈴木さん、ありがとうございます。坂本 晃さん
- 本日合計 37,000円 累計 1,876,000円

◆フリートーキング◆



●健康についてのお話し 中村 勝さん

昨今、いろいろな病気になるかたが多いですが、私が見る限り、このごろ体温が低くなっている人が多いですね。体温が低くなるとどうい現象が起きるかといいますと免疫力が落ちます。皆さんがたも周りで、手が冷たい、足が冷たい、冬は大変だ、こういう人を見かけると思うのですが、これは運動不足が原因です。それと過剰な「減塩」も理由の一つです。昔、東北で高血圧の人が多かったので、皆さん塩を抜きましょう、少なくしましょうと、減塩運動が広まりました。けれども、高血圧症の人というのはほとんど減っておりません。なぜかといいますと、塩にはある程度体温を高める効果がございます。「過ぎたるは及ばざるがごとし」といいますが、塩も適量にとっていただかないと体温が上がらないんです。塩を抜きすぎて、低温になって、血管が収縮する、そうすると必然的に血圧が上がる、結果的に高血圧になるというわけです。「過ぎることはいけない」これだけ頭に入れておいていただきたいと思ひます。

あとは体を動かしていただく。そうしていただければ、体温が上がります。我々が子供の頃は、体温といったら「36度5分」といわれておりました。しかし、このごろは36度を切る人が、若い人でも増えていきますので、これからぼろぼろみんな倒れるんじゃないかなと思ひます。若い世代が年寄りを助けてくれる、そういうこと

第818回例会(6月3日)のご案内

フリートーキング

は絶対ないと思いますね。我々の世代の力の強い人が、若い人を助けなければならない、こういう時代になるのではないかと感じております。だから皆さんも、死ぬまで体を鍛えて、頑張っていたきたいと思います。



さて、皆さんに、フリートークングに向けて、脳を活性化していただきます。昔からよく言っておりました、ホムンクルスの絵というのがありまして、人間の前頭葉、これを活性化するためにどこを刺激するのがいいかといいますと、一つは指先です。指を動かしていると頭がしっかりしてきます。それともう一つは、おしゃべり。しょうもないことをしゃべっていても意外と脳は動いていますから、ぜひおしゃべりを。ガールフレンドをたくさん持っていただいて、おしゃべりしていただく。これは、楽しくて、しかも脳が活性化できることです。手を動かすことと、しゃべること、これをやっていただくとうまく大丈夫だと思います。とは言っても、話だけ聞いていると、「うん、そうだ、そうだ」と思ってみるんですが、実際に皆さんやってみると、自分の指がこんなに動かないのかと思われますよ。口をしっかりと動かすためには、百面相をやるとよいでしょう。女性のかたはしわができるからいやだと言われますが、年をとれば必ずできるものなので、いいしわを作るためにも百面相を毎日やってください。

本当は、環境問題をしゃべりたかったんですね。今、環境問題にうそが多いという本が出て、皆さん読んでみえると思うのですが。あのいい加減な環境問題を、一回、ズバツと切ってみたいなと思っております。



◆ロータリー・ワールド◆

●ロータリーの1億ドルのチャレンジへの支援が呼びかけられる

ロバート S. スコットロータリー財団管理委員長の元に、ポリオ撲滅に対する委員長の熱意に共鳴し、世界中のロータリアンから支援の申し出が寄せられています。ポリオ撲滅の重要なカギを握るのは、ビル・アンド・メリнда・ゲイツ財団から提供された1億ドルの補助金に対し、ロータリーが今後3年間でこれと同額を拠出する「ロータリーの1億ドルのチャレンジ」である、と管理委員長は述べます。



ロバート S. スコット
財団管理委員長

「このチャレンジのために、今後3年間、年に少なくとも千ドルを寄付するよう、各ロータリー・クラブにお願いしています」と、国際ポリオ・プラス委員長を兼任しているスコット管理委員長は述べています。「世界に33,000近くのクラブが存在することを考えると、一致団結してこの募金を行えば、1億ドル全額を拠出することも可能です」

全ロータリアンに対してこのチャレンジへの支援が呼びかけられていますが、特に、前回のポリオ撲滅募金キャンペーンが完了した2005年以降に入会した会員が対象とされています。また、同年以降に加盟したロータリー・クラブに対しても、同様に、特別な呼びかけが行われています。

「ポリオ・プラスは、ロータリーでただ一つの組織全体のプログラムです。世界中でこれほど多くの障害者や犠牲者を出したポリオを完全に無くす、そんな贈り物を世界の子供たちに残したいと、ロータリアンなら誰でも望んでいるはずです」と管理委員長は言います。

「ロータリーの1億ドルのチャレンジ」が開始されたのは1月1日でしたが、その日を待たずに寄付が寄せられ、2007年12月1日には既に受け付けが行われていました。ゲイツ財団補助金への同額拠出の期限は、2010年12月1日です。寄付は、ポール・ハリス・フェロー認証をはじめ、ほかの標準的認証の対象となりますが、このための新しい認証は特に設けられていません。

DVDやパワーポイントのプレゼンテーション資料、パンフレット、プレスリリースの見本など、このチャレンジを果たすためにロータリアンが役立てることのできる数々の資料が現在作成されています。これらの資料は、RIウェブサイトおよびRI世界本部と日本事務局から入手できる予定です。また、クラブと地区の監督と指導にあたる実行グループも任命されます。

「このチャレンジを、『毎年あなたも100ドルを』やロータリー・センター大口募金推進計よりも優先すべきか、という質問が多くから寄せられています」とスコット管理委員長。「その答えは、『いいえ』です。それぞれの推進活動は等しく重要です。ロータリーは、これら3つすべての資金を調達するために、全力を傾けています」

ゲイツ財団からの補助金とロータリーの1億ドルのチャレンジで、ポリオ撲滅に必要な費用をすべて賄い切れるのでしょうか。

「もたらされる2億ドルの資金は、ポリオ撲滅の支援に欠かせない資金となるでしょう」とスコット管理委員長は言います。「しかし、撲滅の仕事を完遂するには、さらなる努力が必要とされます。ロータリーが火付け役となって、今度こそポリオを完全に根絶するために、各国政府やそのほかの団体からもさらなる援助が得られると確信しています」

チャレンジについてはwww.rotary.org をご覧ください。